



日本共産党都議会議員

あぜ上三和子 事務所ニュース

NO.42号

なんでも

生活相談

毎週火曜日13時~18時まで

所長 東 ひろたか

事務所 江東区千石 2-8-16

電話 3615-0130 FAX 3615-0253 【twitter アカウント miwako_azegami】

豊洲新市場 「盛り土」せず

私たち日本共産党は、これまで繰り返し築地市場移転を中止し抜本的に見直しすべきだと指摘し、小池知事に対して、市場関係者、都民団体、専門家の意見を十分に聞いて、文字どおり「いったん立ち止まり」、抜本的再検討をおこなうこと、そのためにも、8月中にも予定されている農林水産省への開場の認可申請を見合わせることを強く求めてきました。

そうしたなか、小池知事は、豊洲市場の11月7日に

開場する予定を延期すると発表しました。

都議団は、あらためて市場内を視察。土壌汚染対策としておこなう予定だった盛り土が建物地下の地盤で行なわれていなかったことがわかり、記者会見で発表する直前、知事が緊急記者会見で「盛り土」問題での調査を発表しました。

私たち都議団は、なぜこのような事態になったのか、知事が食の安全確保を最優先で、徹底的調査をおこなうよう求めていきます。



駅の転落事故防止のための 緊急対策とホームドアの設置促進を

8月29日、日本共産党都議団は、小池知事に対し、転落事故防止のための緊急対策とホームドアの設置促進についての申し入れをおこないました。

8月15日、東京メトロ銀座線青山一丁目駅において、盲導犬をつれた視覚障害者の男性が駅ホームから転落し、電車にはねられ死亡するという痛ましい事故が発生しました。

日本盲人会連合会が実施したアンケートでは、約4割の視覚障害者の方たちが駅ホームから転落した経験があり、約6割が転落しそうなところだと回答しています。都内にある706駅のうちホームドア（可動式ホーム柵含む）が設置されている駅は、32%にとど



点字ブロックの上に柱

まっています。

ホームドアがこの間、少しずつ進んでいるのですが、前倒しで早急に設置するとともに、その間のソフト対応も求められていることから、都市整備局と交通局で取り組むべきことを申し入れました。都も、ホームドア設置と、設置までの間のソフト対策は、大切な問題であるという認識を示しました。

江東区の都営線では、東大島駅が点字ブロックの上に柱がかかっていることも調査でわかりました。前倒しでホームドアを設置するよう、引き続き求めていきたいと思えます。

知事に対し「五輪費用の削減と透明化にむけ都としてとりくむべき課題についての提言」

8月30日、小池知事に対し日本共産党都議団として「五輪費用の削減と透明化にむけ都としてとりくむべき課題についての提言」をおこないました。

その後、その内容について記者会見も行いました。提言の内容の柱は、都立競技施設の計画見直しと整備費縮減、五輪の総事業費および組織委員会の収支計画の公表と費用削減、五輪をめぐる契約や事業の透明化の3つです。

知事が調査を始めるとしていますが、調査チームのとりくみが、国・都・組織委員会による、過大な税金投入と不透明な運営にメスを入れるものになるかどうかが問われています。

私たちは、これまでも、際限のない都負担の拡大と不透明な財政運営などの問題をただすとともに、東京五輪が五輪憲章にそうものとなるよう積極的な提案をおこなってきましたが、小池知事の調査チーム設置にあたり、とりくむべき課題について具体的に提案をしました。



朝、活動報告をするあぜ上都議

待機児解消にむけ、保育の量・質の抜本的拡充を

私たち日本共産党都議団は、知事に対し、「待機児解消にむけ、保育の量・質の抜本的拡充を求める提言」をおこないました。

待機児童問題が深刻になっており、保護者のみなさんからも「保育園に入れないという理由で会社を辞めることになったことがすごく悔しいです」「保活で30園以上見学しやっと認可外保育施設に入りました。認可保育園はすべて落ちました」などという切実な声があがっています。

待機児童対策は先の都知事選挙でも大争点になり、小池知事は「待機児童という言葉そのものを死語にする」と述べましたが、その公約実行が早急に求められています。

私たちは、東京都が待機児童対策をすすめる場合、量を増やすだけでなく、子どもの発達を保障できる質を備えた保育園整備を進めるべきであり、安倍政権のように規制緩

和と詰め込みによる待機児童対策を進めるべきではないと考えます。

保育とは、生涯にわたる人間形成の基礎を培うもので、専門的知識と技術をもつ保育士が中心となって命と発達を保障することが大原則です。「保育園を増やして」と声をあげる保護者の願いも、保育の質を守って増やすことです。

昨年の1月に日経DUALが行った調査では、9割が認可保育園を第一希望にしています。大多数の保護者は、保育士が10割配置され、十分な広さを確保し、所得に応じた保育料の仕組みを持つ認可保育園を求めているのです。

都が認可保育園を中心にし、公の責任で保育の質を守りながら待機児童対策を進める姿勢を明確にする必要があります。私たちは、そういう立場で5つの柱で、知事に対し、待機児対策の提言をおこないました。

区議会議員

赤羽目 たみお

江東区石島 9-5 ☎5665-1156

第2水曜・18時30分

区議会議員

正保 みきお

江東区北砂 4-24-1 ☎3640-4376

第3木曜・18時30分

区議会議員

大つき かおり

江東区枝川 1-6-13 ☎3645-2764

第4木曜・18時30分

区議会議員

すがや 俊一

江東区大島 5-48-10 ☎3683-0745

第4木曜・19時

生活・法律相談
あぜ上都議と区議の
ホームページを区議の
もぐろくたさい

区議会議員

きくち 幸江

江東区大島 2-37-16 ☎3685-7884

第3木曜・18時30分

区議会議員

そえや 良夫

江東区東砂 7-10-24 ☎5683-8185

第3金曜・19時

区議会議員

山本 真 (しん)

江東区東陽 1-16-9 ☎3644-7290

第2木曜・18時30分

区政対策委員

畠中 ひろし

江東区森下 3-13-1 ☎3846-0536

第3金曜・18時30分